

推進方策

市民

- ・エコ交通活動への取り組み
- ・エネルギー消費の意識改革
- ・環境やエネルギー教育への積極的な関わり

協働連携

事業者

- ・EVビジネスの展開
- ・各産業の連携による
バイオエタノール事業化
- ・環境に配慮した事業の実施

行政

- ・環境教育、エネルギー教育
- ・日常生活への意識づけ
- ・情報提供、活動機会創出
- ・環境活動への支援

- ・率先した導入や展開への取り組み
- ・事業化や普及啓発への取り組み
- ・各種支援制度の創設、庁内関連部署連携

- ・技術実証のステージ創出
- ・関係者間の調整、協議
- ・技術の普及、拡大
- ・エコアイランド発展
- ・環境活動への支援

アクションプログラム

	2011	~2020	~2030	~2050
			CO2排出量 30%減 (2003年比)	CO2排出量 70%減 (2003年比)
電気自動車 による 省エネルギーの 促進	公用車等への普及 EVコンバージョン展開 充電施設整備 実証実験、シェアリング事業	EV車割合 20%	一般家庭への普及 宮古島オリジナルの EVコンバージョンの確立 EV車割合 40%	継続実施
バイオ燃料 による 新エネルギーの 活用	E3実用化からE10へ サトウキビ増産による農業振興	ガソリンの 全量E10化	循環型社会の促進 E10の実用化と E100の展開 E100割合 10%	継続実施

この事業は「NEDO」の補助により実施しました。

平成22年度

宮古島市 地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定等事業

重点テーマ：電気自動車およびバイオ燃料を利用したクリーンエネルギー自動車の導入可能性調査



美き島
宮古島

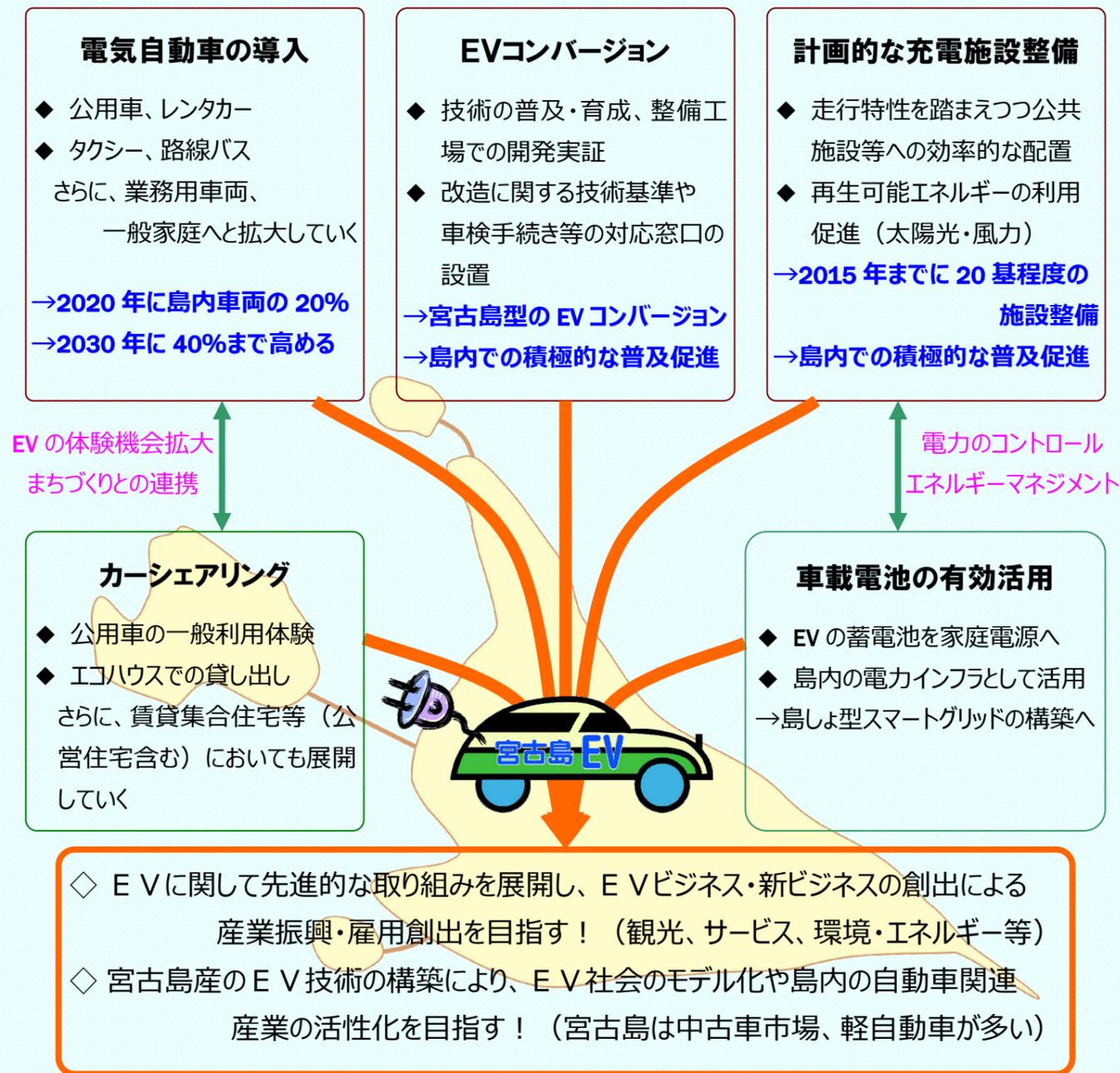
平成23年2月

沖縄県 宮古島市

目指す方向性 ①環境モデル都市行動計画の実現 ②地産地消の循環型社会の形成 ③持続可能なエネルギーの確保 ④産業活性化（育成）・雇用創出

運輸部門における CO2 削減 → 省エネルギー（電気自動車）、新エネルギー（バイオ燃料）によるクリーンエネルギー自動車の普及

電気自動車（EV）の普及による省エネルギーの促進



宮古島市の地域特性を活かした地球環境にやさしい新エネルギーの導入

